

平成 30 年度図書館員向け研修に係るアンケート集計結果報告

平成 30 年 7 月 10 日から 10 月 31 日まで、図書館員の方を対象に、図書館員向け研修について国立国会図書館ホームページ上でアンケートを実施しました。このアンケートは、当館の図書館員向け研修の内容をより充実させるために、当館が実施する研修に対するニーズを把握することを目的とし、求められる研修の種類や内容、レベルを中心にお尋ねしました。

集計結果の概要を以下のとおり報告します。

1. アンケート概要

調査対象：国内外の図書館員

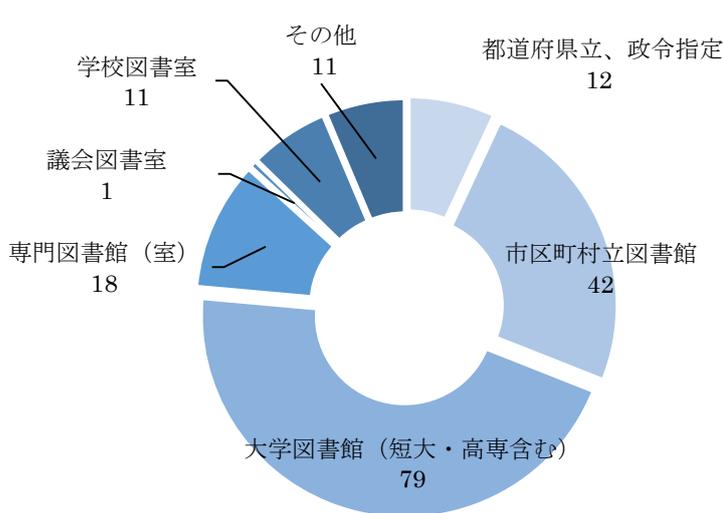
調査方法：公開型インターネットアンケート

調査期間：平成 30 年 7 月 10 日（火）から 10 月 31 日（水）まで

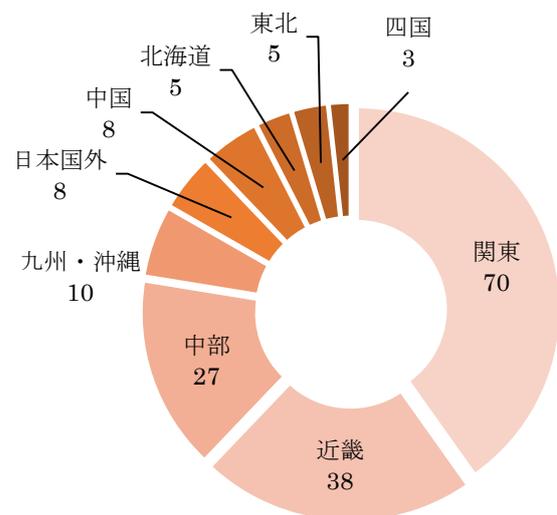
回答総数：174 件

2. 集計結果

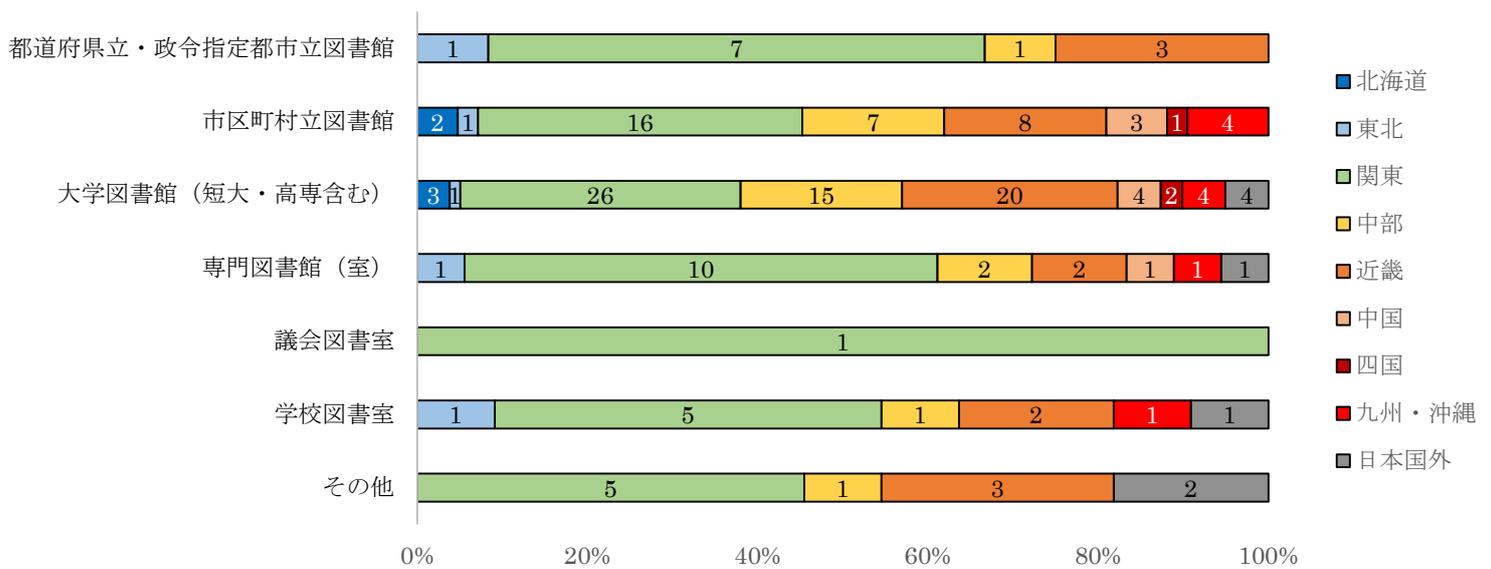
2-1. 回答者の属性（問1～問3）



勤務先図書館の種別（館種）



勤務先図書館の所在地域



勤務先図書館の種別及び所在地域

「その他」では、以下の記載がありました。

*回答の一部を抜粋して掲載しています。

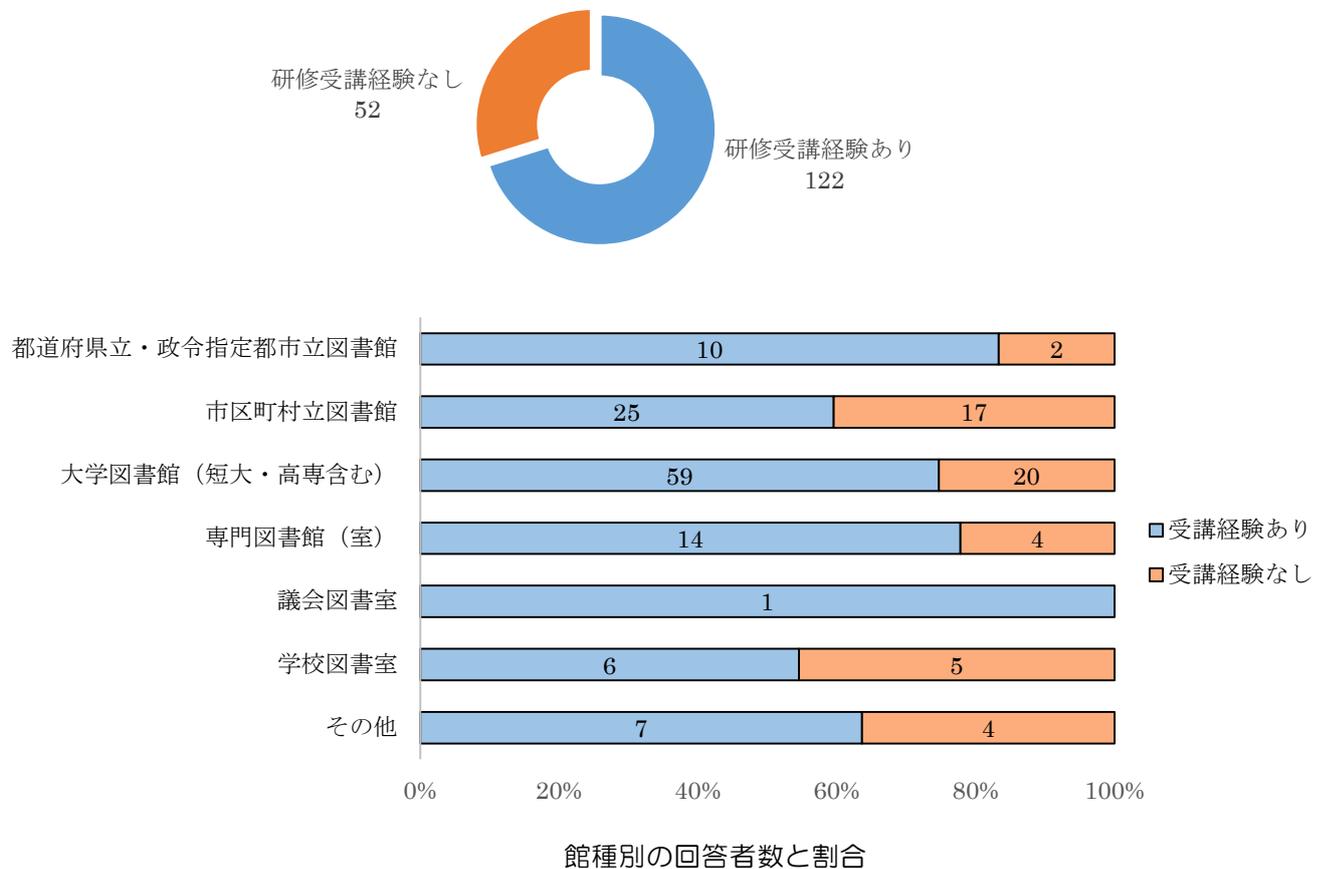
- 国立図書館
- 企業内図書室
- 看護専門学校図書室
- 大学共同利用法人
- 美術館図書室
- 教育委員会事務局

また、回答者のうち、勤務先の図書館、または地域、関係団体等において、図書館員向けの研修を企画することがあると回答したのは77名（44%）でした。

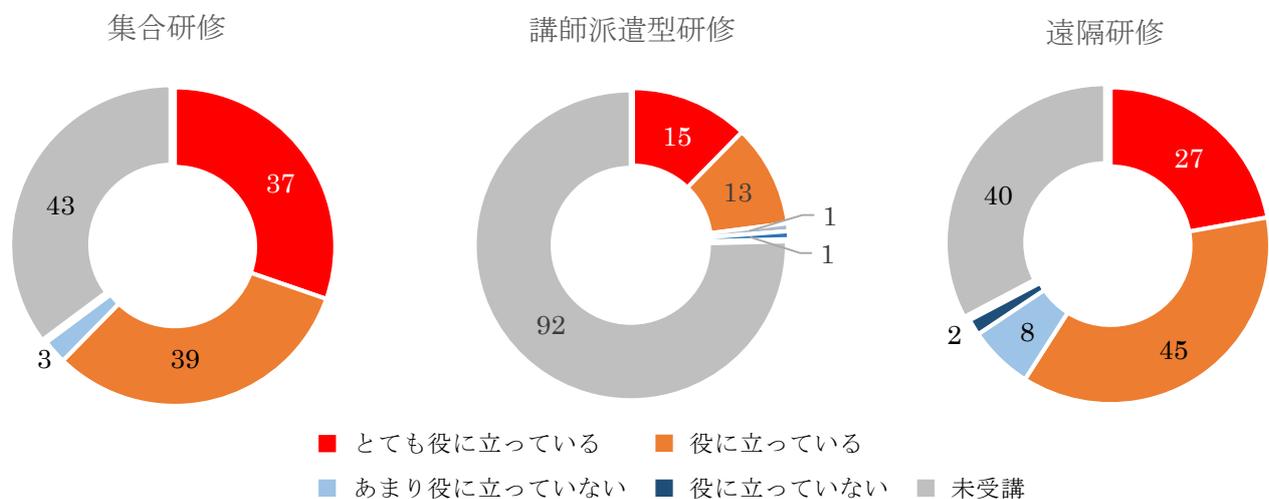


2-2. 国立国会図書館の図書館員向け研修全般について（問4～問9）

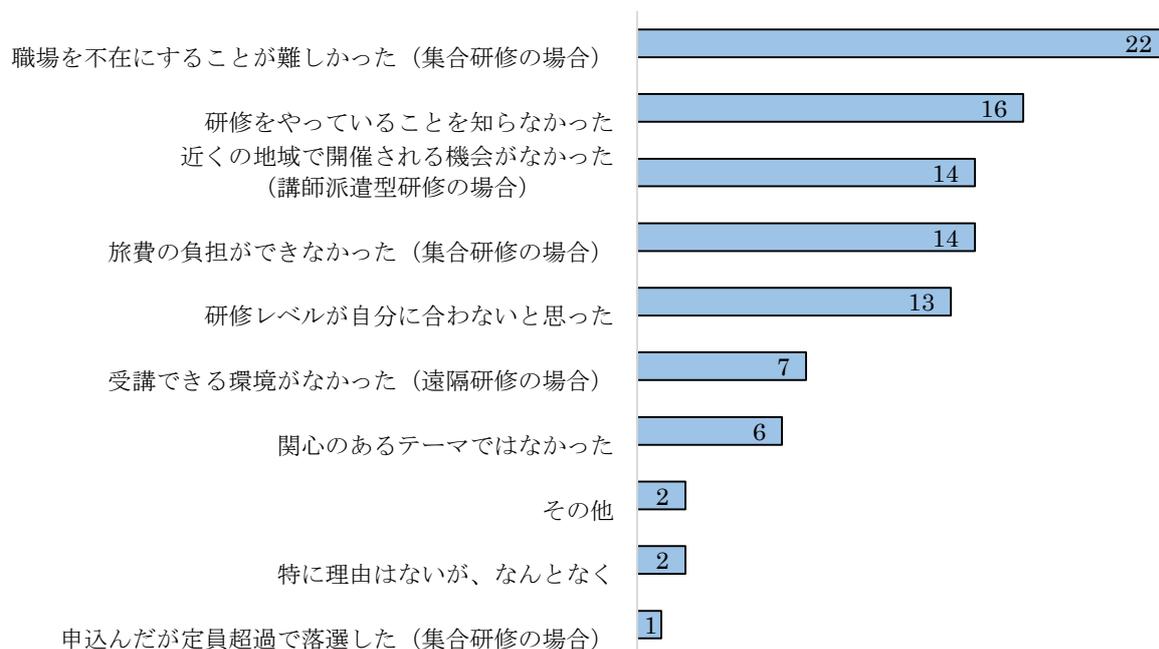
2-2-1. 国立国会図書館による図書館員向け研修の受講経験【選択式・単一回答】



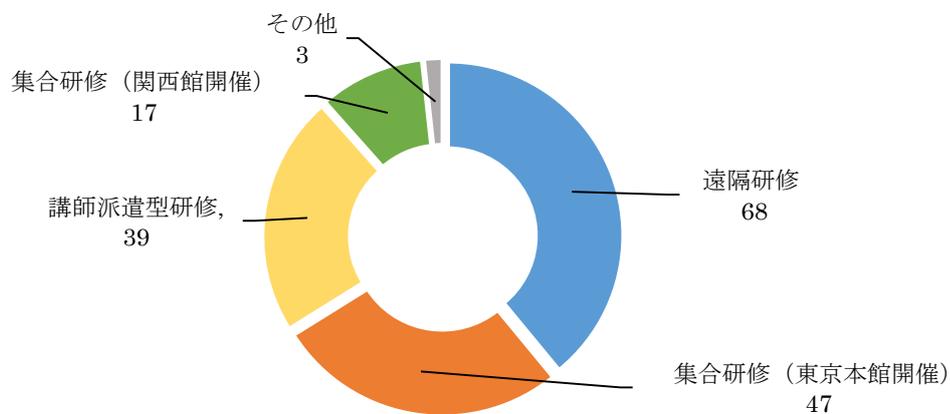
2-2-2. 研修が業務の役に立っているか【選択式・単一回答】



2-2-3. 未受講の理由【選択式・複数回答可】

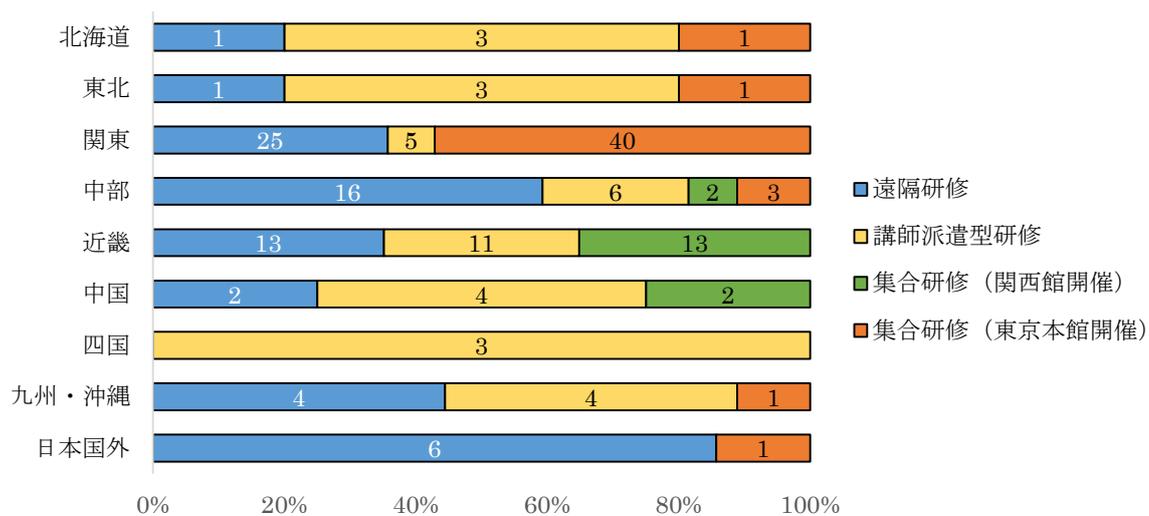


2-2-4. 国立国会図書館が行う研修として最も期待する研修の種類【選択式・単一回答】



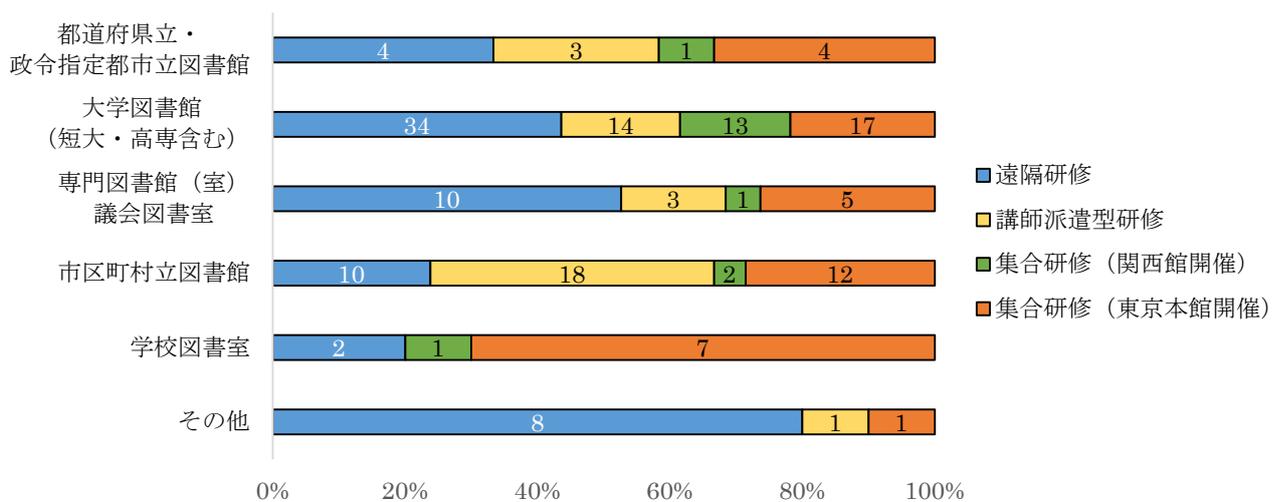
「その他」では、以下の記載がありました。

- 集合形式も派遣形式も必要
- オンライン講習
- 近畿圏での集合研修（大阪市内など便利の良い地域で開催希望）



期待する研修の種類（地域別）

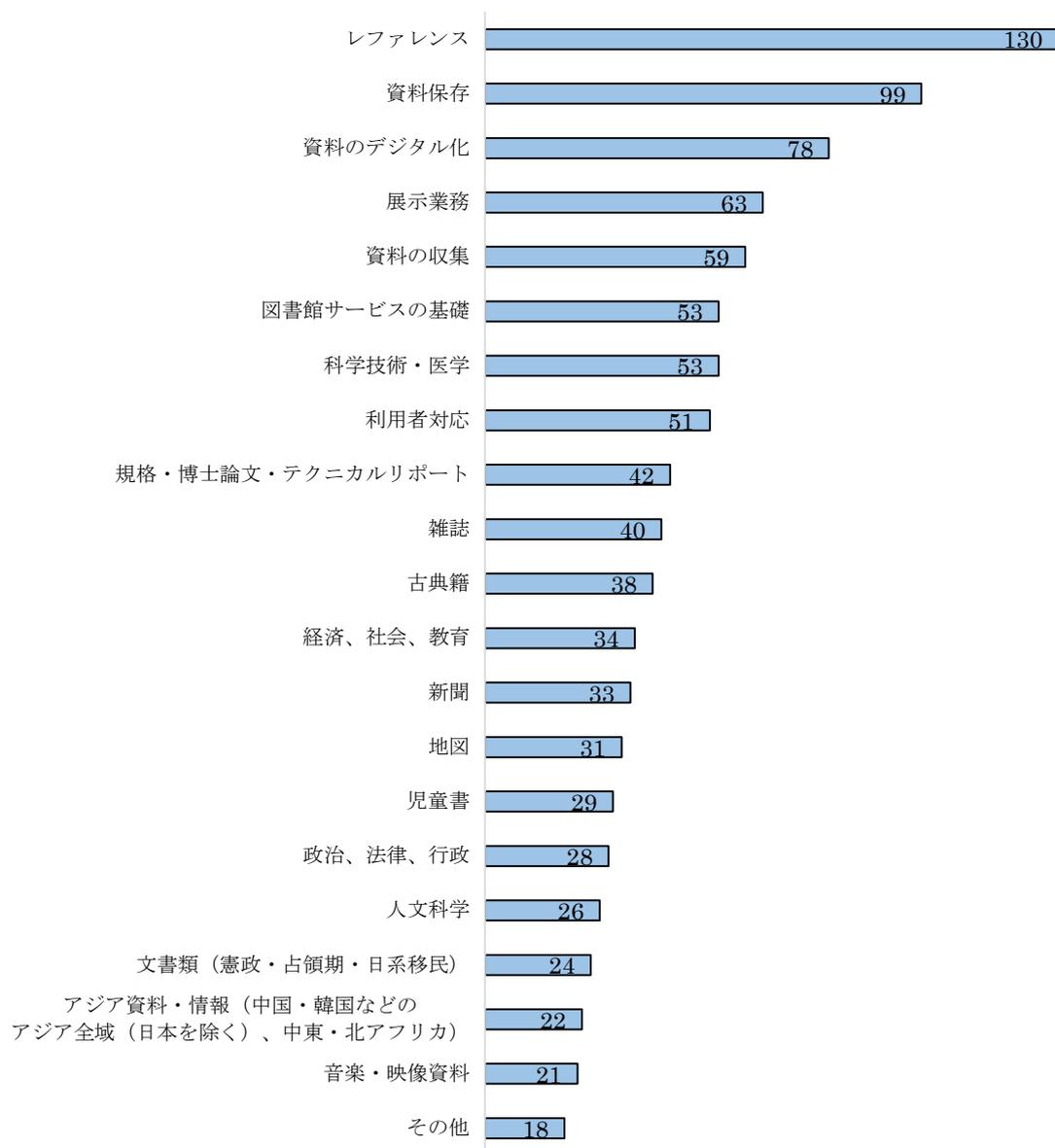
* 「その他」の回答を除く



期待する研修の種類（館種別）

* 「その他」の回答を除く

2-2-5. 研修全般において、希望する主題（テーマ）や資料群【選択式・複数回答可】



「その他」では、以下の記載がありました。

*回答の一部を抜粋・編集して掲載しています

- データベース、デジタル資料の利活用、デジタルヒューマニティー
- 典拠記録；書誌記録／分類・資料組織
- 資料の複写業務（著作権法をふまえて）／著作権
- 漫画
- 看護
- 障害者向けサービス

2-2-6. その他、意見や要望【自由記述】

*回答の一部を抜粋、編集して掲載しています。

【遠隔研修について】

- 遠隔研修を今よりもできれば増やしてほしい。
- ユーチューブで研修を見られるのはとても有難い。集合研修で行われている研修を短く時間を区切って多種登録してほしい。

【集合研修について】

- 障害者向けサービスの研修を昨年、関西館で受講し、大変役立った。ただ宿泊を伴う出張となるため、職場において参加のハードルが高かった。同じ内容を東京でも実施してほしい。

【研修科目、テーマ設定について】

- 資料保存など、専門家につかないと研修の機会が中々ないものを習いたい。また、ある程度自力で学べるものについては、もう一步踏み込んだ中高度な研修の機会を与えてほしい。
- 参考図書を読めばわかる通り一遍の知識以上の、より専門的な知識を知りたい。

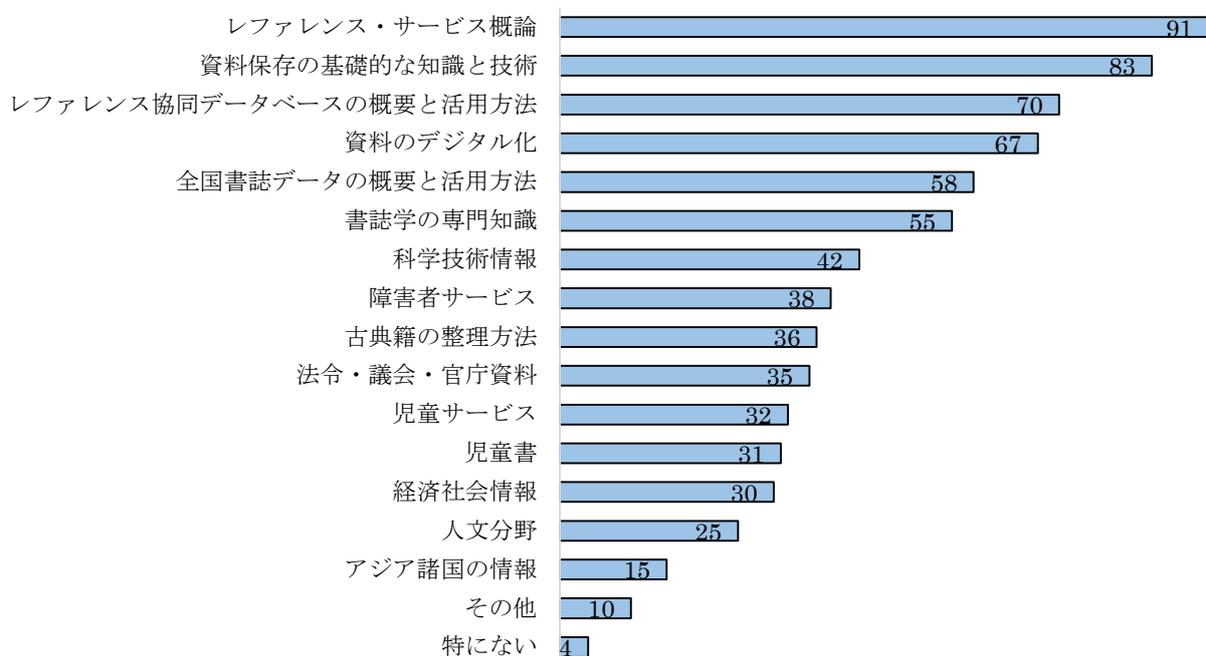
【その他、研修に関して】

- 国会図書館企画の研修は、集合研修、遠隔研修ともに一方的に受けるだけではなく、日頃疑問に感じていること、悩んでいることに適切な回答が得られ、大変助かった。
- より体系的に学べると良い。データベース、ICT 機器、図書館業界の革新は進んでいるのに、その情報を自力で探して身につけていくことは非常に難しい。自分の知識をアップデートするために、国会図書館の研修は非常に役に立っている。

2-3. 集合研修 (問 10~問 11)

2-3-1. 平成 30~32 年度に開催する可能性があるテーマの中で、受講したい科目

【選択式・複数回答可】

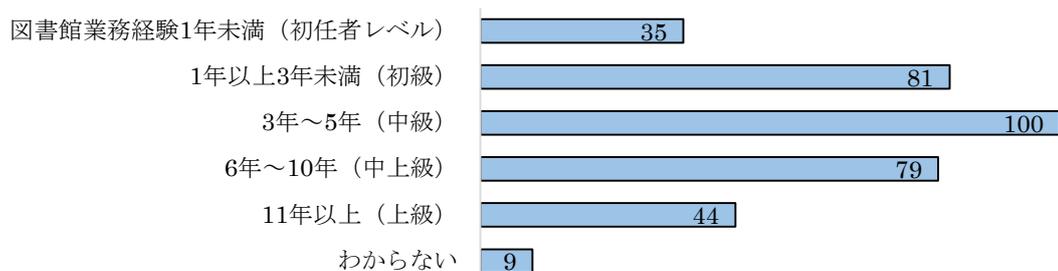


「その他」では、以下の記載がありました。

*回答の一部を抜粋、編集して掲載しています。

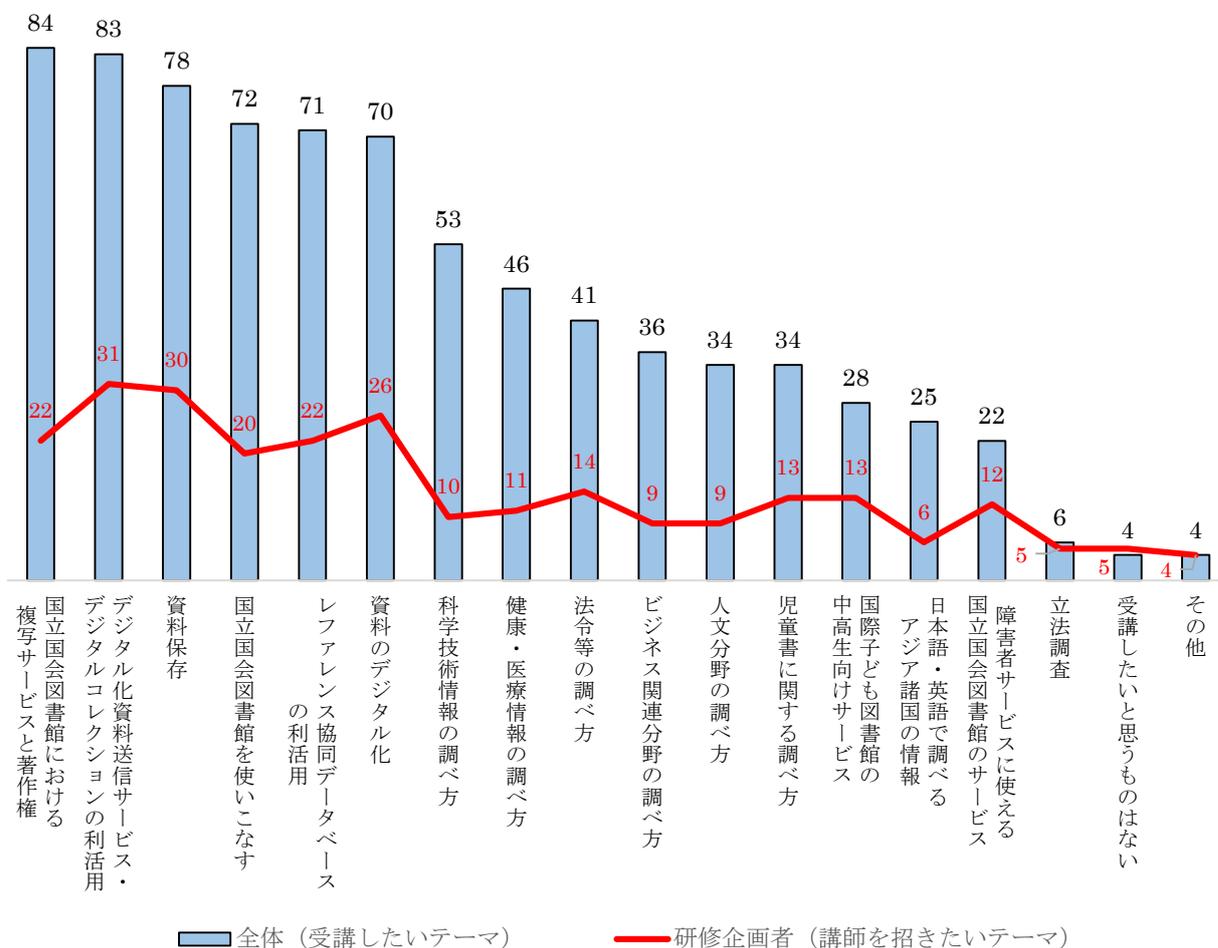
- 著作権
- デジタルヒューマニティ、IIIF、TEI
- 典拠記録 書誌記録
- 資料保存の高度な知識と技術
- 被災資料への第一処置 (基礎知識として)
- 資料の収集方針
- 市町村ごとのデジタル化資料のネットワーク化

2-3-2. 集合研修の対象として、望ましいレベル【選択式・複数回答可】



2-4. 講師派遣型研修（問 12～問 13）

2-4-1. 平成 30 年度に提供しているテーマについて、受講したい科目（全体）と研修で講師を招きたいテーマ（図書館員向けの研修を企画することがある方）【選択式・複数回答可】



全体の「その他」では、以下の記載がありました。

*回答を抜粋、編集して掲載しています。

- 典拠記録；書誌記録
- 障がい者サービス担当職員向け研修
- 受講したいが県内に会場にできる場所がない
- 実際に資料の保存状態、デジタル化、書誌データを見て、アドバイスを受けられる講習。プロの目から見た訪問チェック。その訪問を『国立国会図書館 月報』に連載してほしい。

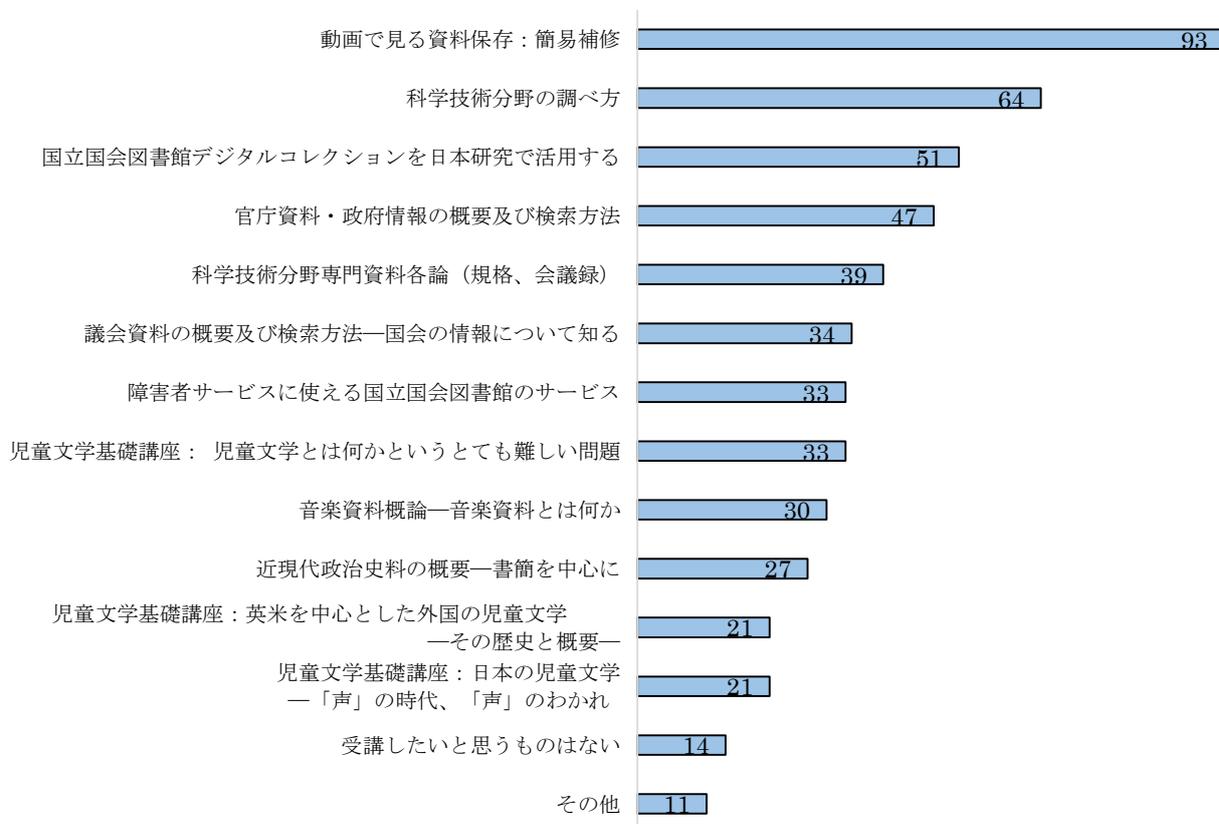
研修企画者の「その他」では、以下の記載がありました。

*回答を抜粋、編集して掲載しています。

- 典拠記録；書誌記録
- 情報ウェブサイトを作る
- 新しくなった国会図書館サイトの使いこなし／分類・資料組織
- 外国語文献の調べ方

2-5. 遠隔研修 (問 14~問 15)

2-5-1. 受講したいテーマ、あるいは既に受講したテーマ【選択式・複数回答可】



「その他」では、以下の記載がありました。

*回答の一部を抜粋、編集して掲載しています。

- 典拠記録；書誌記録
- 資料保存(29年度まで遠隔研修で提供していた研修と同程度のもの)
- レファレンス
- 日本語資料に対する目録；日本名及び日本題名に対する典拠記録
- 新しくなった国会図書館サイトの使いこなし／分類・資料組織
- もう少し基礎的な知識
- 経済情報の検索方法（IAAL 認定試験の対策ができるとうい）
- 電子図書館について
- 著作権

2-5-2. 提供方法、内容、使い勝手等についての意見や要望【自由記述】

*回答の一部を抜粋、編集して掲載しています。

【役に立った】

- 6~7年位前にデジタル化についての遠隔研修を受けたが、初心者にも分かりやすく、その後の資料撮影の際に大変参考になった。
- 1度受講したが、理解しやすく、操作もわかりやすく良かった。

【増やしてほしい】

- 資料は受講前に一括で見られる（ダウンロードできる）ようになっているとありがたい。
- 受講してみたい講座があっても人数制限や受講対象から、参加が難しいことが多々あるため、遠隔講座がより充実すると良い。

【その他】

- 所属長への自己申告や自己評価の際に、研修受講を証明できるため修了証があると良い。
- 初級レベル、中級レベル、上級レベルが、それぞれあると良い。

2-6. その他 (問 16～問 17)

2-6-1. 国立国会図書館以外が開催した研修で、図書館業務に役立った研修名、研修開催機関、研修内容【自由回答】

*回答の一部を抜粋、編集して掲載しています。

【文化庁が主催する研修】

- 著作権講習会

【日本図書館協会が主催する研修】

- ステップアップ研修
- 健康・医療情報サービス入門
- 児童図書館員養成講座

【国立情報学研究所 (NII) が主催する研修】

- ILL システム地域講習会
- 学術情報リテラシー教育担当者研修

【各種図書館、自治体等が実施する研修】

- レファレンス研修 (都立図書館主催)
- 情報検索出前講座 郷土資料レファレンス入門 (大阪府立図書館)
- 「図書館の危機管理～利用者対応を中心に～」 (広島県立図書館)

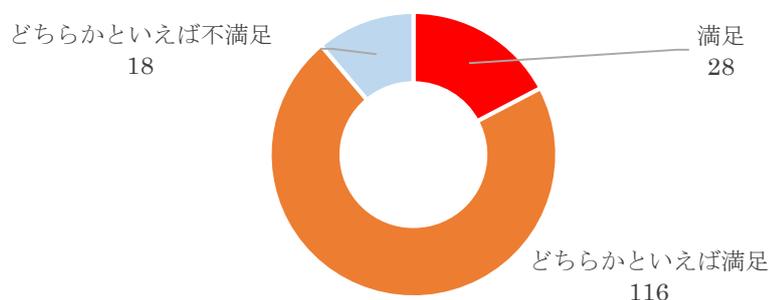
【大学、学協会等】

- 西洋古典籍研修 (一橋大学)
- 医学図書館員基礎研修会 (日本医学図書館協会)

【その他】

- 議会図書室職員向け研修 (専門図書館協議会)
- 法情報の調べ方 (法律図書館連絡会)
- データベース検索方法 (日本医学図書館協会主催)

2-6-2. 図書館員の研修のページの全般的な満足度【選択式・単一回答】



*「具体的な改善要望」で記載があった内容の一部を抜粋、編集して掲載しています。

- トップページから直接アクセスできるようにしてほしい。
- 遠隔研修で利用したページはプリントアウトに適した画面ではなかったため、テキストとして保存できるような画面構成を希望する。
- 研修ページで講義資料が公開されているので、大変参考になる。